

事業内職業能力開発計画

1. 運営理念と方針に基づいた
人材育成の基本方針
2. 雇用管理方針
3. 職業能力基準
4. 教育訓練体系

1. 運営理念と方針に基づいた人材育成の基本方針

運営理念

人の和 地域の輪 ふれあいの場

運営方針

1. より質の高い介護サービスと介護支援をめざす。
2. 人権を尊重した介護サービスと介護支援を提供する。

職員心得 10 則

第一（サービス提供の基本）

サービスの提供に当たっては、「してあげる」のではなく「させていただく」という謙虚な気持ちで当たること。

第二（明るく・清潔な環境）

利用者と職員の間関係を良好に保ち、常に明るく、清潔な職場環境を作るように努めること。

第三（誠実な仕事）

サービスの提供を行うに当たっては、利用者や第三者から評価されていることを忘れず、裏表なく誠実に取り組むこと。

第四（責任の自覚と相互協力）

与えられた業務については、責任を持ってミスなく確実にを行うことはもちろん、職員は相互に協力し合って仕事を行うこと。

第五（相手の立場に立つ）

サービス提供に当たっては、常に相手の立場に立って行い、自分のペースや判断で行わないこと。

第六（言葉と行動）

サービスの提供に当たっては、言葉遣いや行動・態度に注意し、ハッキリ明快かつ親切・丁寧に行うこと。

第七（施設環境の美化）

事業所内の環境美化は、間接的なサービス提供であることを認識し、清掃・消毒などは確実に丁寧に行うこと。

第八（誇りとイメージアップ）

M老人ホーム職員としての誇りと自信を持って業務を行うと共に、外部の人との応接には特に気を配り、ホームのイメージアップに努めること。

第九（意見の交換と研究）

サービスの質の向上のために、職員相互の意見交換を行うと共に、常に問題意識を持って研究に努めること。

第十（私生活の自律）

勤務の変更が、利用者や他の職員に与える影響を認識し、平素の生活リズムを乱さないように、私生活には十分注意すること。

人材育成の基本方針

マナー・倫理観、また専門性を磨き、職務遂行能力・対人関係能力を高めることに、自らすすんで目標を持てることをめざす。

職業人として成長できること、人と人との関係に和やかさを創りだせること、これらをめざす人材により、ポジティブで目標指向型の組織風土をめざす。

人材育成の目標

組織のチーム力を向上させるために、コミュニケーションと人材育成の能力を培う。人材育成にかかる基礎を作り、職場内教育研修のシステム（キャリアパス）整備をすすめることができる体制をめざす。

1. 平成 26 年度は、各チーム力を向上させる要となる主任と中堅職員を対象にリーダー育成研修を行う。リーダーシップ、またその根本となる人間力・コミュニケーション力の研修を行う。これを基本として、リーダーに求められる職能を、各職員の職種、経験や特性に沿って個別研修を行い、それぞれのレベルアップをめざす。
2. 職員それぞれが、自分の可能性を信じ、目標と能力に応じて「成長する実感」を感じ、また指導・育成する側・受ける側両者が職業人としての成長を促進できるしくみづくりをめざす。
3. 職員それぞれの能力を組織の力として最大限発揮できる組織をめざし、ひいては、社会福祉法人として、職員、利用者、地域へ貢献する。

2. 雇用管理方針

従業員のキャリア形成に即した配置

経験者や有資格者等を積極的に採用し、働き方やキャリアの方向性など、多様な目標に合わせた活躍の場を支援することにより、職員の育成と定着を図る。よりよい人材を定着させることが利用者サービスの質に直結する。

昇進昇格、人事考課等

日常の勤務や実績を通じ、その業績の成果、目標の達成度合い、新たな業務への挑戦などを客観的公平に評価し、昇給、昇任・昇格など、透明性が高く公正な人事考課をめざす。

※ 別紙添付資料 事業内職業能力開発計画（資料2-1）、組織図（資料2-2）

3. 職業能力基準

職務に必要な職業能力に関する事項

※ 別紙添付資料 職業能力基準（資料3） のとおり

4. 教育訓練体系

1. 各職掌・職務別、また各職種系統・レベル別において、必要とされる職能を教育訓練により得られるよう、研修計画を立案する。
2. 上位者は、研修計画立案やOJTとOFF-JTにおいて、職員それぞれの課題把握や目標設定を支援する。また上位者は、職員の経験及び特性を生かしたそれぞれの目標やチャレンジに沿い職業人としての成長と個性あるキャリア形成を支援していく。
3. 職員それぞれが、自らの働き方やキャリアの方向性を探り、能力開発に意欲を持ち、将来に展望を持って個性あるキャリアアップをしていくことができるシステムをめざし整備していく。

※ 別紙添付資料 事業内職業能力開発計画（資料2-1）、キャリア形成イメージ図（資料4）、